

平成22年度

生物圏生命科学専攻海洋生物学講座 修士論文発表会プログラム

日時:2011年2月8日 (火)

場所:217番 講義室

13:00- 13:05 開会の辞 原田泰志

海洋個体群動態学 座長:原田泰志

13:05- 13:20 上野篤史

絶滅危惧淡水魚類における積極的保全手法の確立

ーカワバタモロコのため池への再導入を例としてー

(主査:原田泰志 副査:勝川俊雄, 河村功一)

13:20- 13:35 馬場真大

日本海底びき網漁業対象資源の漁業依存情報にもとづく動向把握手法の検討

(主査:原田泰志 副査:谷村 篤, 勝川俊雄)

海洋生物化学 座長: 幹 渉

13:40- 13:55 北村 真

三重県産大型藻類成分が脂肪細胞の分化・成熟に及ぼす影響について

(主査:幹 渉 副査:加納 哲, 柿沼 誠)

海洋微生物学 座長: 田中 礼士

14:00- 14:15 三矢 皓之

アワビ消化管内におけるプロバイオティクス菌の動態に関する研究

(主査:前川 行幸 副査:原田泰志, 田中礼士)

14:15- 14:30 Nunai Sharon Nonato

Immobilized bacterial cells with potential application in oil spill bioremediation

(邦題:固定化微生物を用いた重油汚染地域の浄化)

(主査:前川 行幸 副査:原田泰志, 田中礼士)

14:30- 14:40 休憩

生体高分子化学 座長: 加納 哲

14:40- 14:55 青山 高士

ブリあら由来コラーゲンの機能性に関する研究

(主査: 加納 哲 副査: 柿沼 誠, 船原大輔)

14:55- 15:10 劉 瀟

ドチザメ・ミオシンS-2の尿素抵抗性に関する研究

(主査: 加納 哲 副査: 幹 渉, 船原大輔)

海洋生態学 座長: 谷村 篤

15:15- 15:30 笹子由希夫

日本産ハマトビムシ科端脚類の分布と分子系統解析

(主査: 谷村 篤 副査: 木村妙子, 柿沼 誠)

15:30- 15:35 講評・閉会の辞 加納 哲

注意事項

- ・ 発表形式は、12分講演、3分質疑応答、計15分です。時間を厳守してください。
- ・ タイムキーパー1名を発表者の研究分野から出してください。
- ・ タイムキーパーは10分に1鈴、12分に2鈴、15分に3鈴、ベルを鳴らしてください。
- ・ ノートパソコンは、各研究室で用意してください。
- ・ 液晶プロジェクターは海洋個体群動態学研究分野で準備します。